【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【公表番号】特表2017-520044(P2017-520044A)
【公表日】平成29年7月20日(2017.7.20)
【年通号数】公開・登録公報2017-027
【出願番号】特願2016-569434(P2016-569434)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　9/445　(2018.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　9/06　６１０Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成30年5月23日(2018.5.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数個のデバイスにわたる複合アプリケーションを実行するためのコンピュータ実装方法であって、前記コンピュータ実装方法のためのコンピュータ実行可能命令を実行する１つまたは複数のプロセッサにより実行され、
第１の変換チェーンクラスと第２の変換チェーンクラスとの間の認可される依存関係を識別するステップと、
前記第１の変換チェーンクラスの第１のインスタンスと前記第２の変換チェーンクラスの第２のインスタンスが結び付けられることを認可するステップであって、結び付きは、前記第１の変換チェーンクラスと前記第２の変換チェーンクラスとの間の前記識別される依存関係に従って、および、前記第１のインスタンスと前記第２のインスタンスとの間の依存関係状態に従って、前記第１のインスタンスと前記第２のインスタンスとの間でデータが流れることを可能とする、認可するステップと
を含む、コンピュータ実装方法。
【請求項２】
前記第２のインスタンスが前記第１のインスタンスから結合解除されるべきであると決定するステップと、
前記第２のインスタンスが前記第１のインスタンスから結合解除されるべきであると決定することに応答して、前記第１のインスタンスと前記第２のインスタンスとの間でデータを流すことを中断するステップと
をさらに含む、請求項１に記載のコンピュータ実装方法。
【請求項３】
前記第１のインスタンスと前記第２のインスタンスが結合解除されるべきであると決定することは、ミーティング終結ステータスに従ってなされる、請求項２に記載のコンピュータ実装方法。
【請求項４】
前記第１のインスタンスは第１のデバイスに関連付けられ、前記第２のインスタンスは第２のデバイスに関連付けられ、前記第１のインスタンスと前記第２のインスタンスが結合解除されるべきであると決定することは、１）前記第１のデバイスおよび前記第２のデバイスの近接度、２）前記第１のデバイスと前記第２のデバイスとの間の通信能力、なら

びに、３）前記第１のデバイスのユーザからの要求、または前記第２のデバイスのユーザからの要求の、少なくとも１つを含む、１つまたは複数の結合解除判定基準に従ってなされる、請求項２に記載のコンピュータ実装方法。
【請求項５】
前記第１のインスタンスと前記第２のインスタンスが結び付けられるべきであると決定することは、１つまたは複数の結び付き判定基準に従ってなされる、請求項１に記載のコンピュータ実装方法。
【請求項６】
前記第１の変換チェーンクラスと第３の変換チェーンクラスとの間の認可される依存関係を識別するステップと、
前記第１の変換チェーンクラスの前記第１のインスタンスと前記第３の変換チェーンクラスの第３のインスタンスが結び付けられることを認可するステップであって、結び付きは、前記第１の変換チェーンクラスと前記第３の変換チェーンクラスとの間の前記識別される依存関係に従って、および、前記第１のインスタンスと前記第３のインスタンスとの間の依存関係状態に従って、前記第１のインスタンスと前記第３のインスタンスとの間でデータが流れることを可能とする、認可するステップと
をさらに含む、請求項１に記載のコンピュータ実装方法。
【請求項７】
前記第２の変換チェーンクラスと前記第３の変換チェーンクラスとの間の認可される依存関係を識別するステップと、　前記第２の変換チェーンクラスの前記第２のインスタンスと前記第３の変換チェーンクラスの前記第３のインスタンスが結び付けられることを認可するステップであって、結び付きは、前記第２の変換チェーンクラスと前記第３の変換チェーンクラスとの間の前記識別される依存関係に従って、および、前記第２のインスタンスと前記第３のインスタンスとの間の依存関係状態に従って、前記第２のインスタンスと前記第３のインスタンスとの間でデータが流れることを可能とする、認可するステップと
をさらに含む、請求項６に記載のコンピュータ実装方法。
【請求項８】
コンピュータ実行可能命令を有する１つまたは複数のコンピュータ可読記憶媒体であって、前記コンピュータ実行可能命令は、コンピューティングシステムの１つまたは複数のプロセッサにより実行されたとき、前記コンピューティングシステムに、異なる変換チェーンクラスの変換チェーンインスタンスの結び付きを認可するためのコンピュータ実装方法を実行させるように構造化され、前記コンピュータ実装方法は、
複数の変換チェーンクラス間の認可される依存関係を識別するステップと、
複数の変換チェーンインスタンスが結び付けられることを、１つまたは複数の結び付き判定基準に従って認可するステップであって、前記複数の変換チェーンインスタンスは、前記複数の変換チェーンクラスの少なくとも一部のインスタンスを表す、認可するステップと
を含み、
前記複数の変換チェーンインスタンスの結び付きは、複合変換チェーンインスタンスを形成し、前記複合変換チェーンインスタンスは、アプリケーション関数インターフェイスを通過することも関数呼び出しをかけることもせずに、前記複数の変換チェーンインスタンスの少なくとも一部の間でデータが流れることを可能とする、コンピュータ可読記憶媒体。
【請求項９】
前記１つまたは複数の結び付き判定基準は、以下のもの：ミーティング出席者リスト；個別の変換チェーンインスタンスに関連付けられるデバイスの、環境内の１つまたは複数の他のデバイスからの近接度；および、前記個別のデバイスのユーザと、前記環境内の他のユーザとの間の関係性の、少なくとも１つを含む、請求項８に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項１０】
１つまたは複数のプロセッサと、
コンピュータ実行可能命令を有する１つまたは複数のコンピュータ可読記憶媒体であって、前記コンピュータ実行可能命令は、前記１つまたは複数のプロセッサにより実行されたとき、コンピューティングシステムに、異なる変換チェーンクラスの変換チェーンインスタンスの結び付きを認可するためのコンピュータ実装方法を実行させるように構造化され、前記コンピュータ実装方法は、
複数の変換チェーンクラス間の認可される依存関係を識別するステップと、
複数の変換チェーンインスタンスが結び付けられることを、１つまたは複数の結び付き判定基準に従って認可するステップであって、前記複数の変換チェーンインスタンスは、前記複数の変換チェーンクラスの少なくとも一部のインスタンスを表す、認可するステップと
を含み、
前記複数の変換チェーンインスタンスの結び付きは、複合変換チェーンインスタンスを形成し、前記複合変換チェーンインスタンスは、アプリケーション関数インターフェイスを通過することも関数呼び出しをかけることもせずに、前記複数の変換チェーンインスタンスの少なくとも一部の間でデータが流れることを可能とする、１つまたは複数のコンピュータ可読記憶媒体と
を備える、システム。